



CAMPUS

Vol.
134

2020 SPRING

奈良工業高等専門学校

令和2年3月発行

〒639-1080 奈良県大和郡山市矢田町22

奈良工業高等専門学校 広報センター

TEL. 0743-55-6034 (CAMPUS担当)

ホームページ <https://www.nara-k.ac.jp>

メールアドレス gakusei@jimu.nara-k.ac.jp

全国高専ラグビーフットボール大会 2連覇！



全国高専ロボコン ロボコン大賞&特別賞 W受賞！



全国高専英語プレコン 第3位入賞！



卒業・修了おめでとう！



C contents

- 巻頭言 02
- 高専女子フォーラムin関西の参加報告 ... 03
- 高専ロボコン全国大会『ロボコン大賞』
受賞報告
- 大学編入学等進学・就職内定状況 04
- 卒業・専攻科修了おめでとう！ 05

- 全国高専英語プレコンの参加報告 08
- クラブ・同好会紹介(バスケ・メカ研)
- 学生表彰(優秀賞・皆勤賞・特別賞など) ... 09
- アジアユースフォーラムの参加報告など ... 10
- カウンセラー・ソーシャルワーカーだより ... 11

I information

- ☆全国高専ラグビーフットボール大会
2連覇！
- ☆卒業記念品の寄贈
- ☆行事予定(4月~9月)



中村 秀美

専攻科長

昨年のノーベル化学賞がリチウムイオン電池を開発した旭化成名誉フェローで名城大教授の吉野彰先生ら3氏に授与されたのは記憶に新しいところだと思います。吉野先生は受賞決定後、教授を務める名城大学の講義では、成功の前に3度、プロジェクトが実らなかった自身の経験から、「失敗しないと絶対に成功はない」と学生に語っています。また、インタビューの中で、「失敗の中で『ああ、これを学びましたね』というのは残りますよね、失敗は失敗でもね。蓋をしちゃったら終わっちゃうじゃないですか。そこから学ぶことは何もなくなっちゃう。失敗したときこそ『失敗の原因を自分に問い詰める』と。」ということも言っています。失敗をそのままにするのではなく、その原因を追究することでノーベル賞にもつながる大発見をしたということです。

東京大学の名誉教授で福島原子力発電所における事故調査・検証委員会委員長を務められた畑村洋太郎先生が提唱している「失敗学」というのがあります。『失敗学のすすめ』という著書のプロローグにおいて、「失敗は成功の母」という格言にも示されている、「失敗をしてもそれを反省して失敗を改めていけば、必ずや成功に導いていける」という教訓は科学技術の進歩には不可欠なことであり、「創造的な設計(ものづくり)をするためには、多くの失敗が必要だ。人が新しいものを作り出すとき、最初は失敗から始まるのが常であり、失敗から学び、それが新たな創造の種となるのである」と述べています。残念ながら、日本の教育の現場においては、“こうすれば正解が得られる。こうすれば失敗しない」ということを教えるばかりですし、日本の社会では失敗は許されないという風潮があるので、なかなか失敗を恐れずに行動し、創造力を養うということは難しいというのが現状です。

さて、ここで改めて失敗とは何かを定義しておく、『失敗とは、ある行為の結果が期待した通りにならないこと、或いは望ましくない結果になること』ということですが、失敗にはどうしても負のイメージがあるため、多くの人は失

敗したことをそっと胸の中にしまっておき、やがて忘れてしまいます。しかし、逆に失敗ときちんと向き合い対処することができれば、大きな失敗を回避することができ、次の新しい創造につなげることができるようになります。これが「失敗学」の本質ですが、ではどのように失敗と向き合ったら良いのでしょうか。

失敗学によると、失敗には「良い失敗」と「悪い失敗」があるといます。「良い失敗」とは、失敗をバネに大きく成長することのできる痛みや悔しさを伴った失敗です。これには、吉野先生のように未知なる発見につながる失敗や、被害の少ない小さな失敗を経験することで、より深刻で重大な失敗を回避する能力を身に着ける予防接種的な失敗が含まれます。創造には多くの失敗が必要で、失敗の痛みを体感することで、生きた知識となり理解を深めることができるようになります。一方、「悪い失敗」は無知や不注意、誤判断などから起きる失敗であり、この種の失敗は経験する必要のない失敗と言えます。

実は失敗から学ぶためにまず必要なものは基礎学力であり、実践に必要な型を習得することだと思います。高専の低学年までにこの土台を作っておくことで、「無知による失敗」を回避する力が養われます。そのうえで、高学年においてはPBLの講義や学生実験、卒業研究を通して、実際にさまざまな分野の課題に取り組み、この課題解決の過程で小失敗・中失敗を体験することで、失敗から学ぶ力が養われます。たとえば、卒業研究で新たなことに取り組んで失敗したとします。何か新しいことを始める場合に失敗はつきものですが、その失敗の原因が単なる自身の「学習不足」、「計画不良」、さらには焦りと雑念による「注意不足」であったと明らかになれば、その対策をするのは難しくありません。全体計画の見直し、知識不足を学び直し、そして作業ステップごとに動作確認をすれば、失敗を乗り越えることができます。すなわち、まずは失敗の原因を挙げ、失敗の本質を見分け、失敗の原因を多角的にとらえて、具体的な行動に落とし込む。こういう習慣づけができれば致命的な失敗を防ぐことができます。さらに、研究ノートに失敗とその原因を詳細に記録しておけば自身が新しいことを始めるときの参考になるばかりでなく、他の人の参考にもなります。これが、失敗から学び、失敗を活かすということです。良いアイデアは、柔軟に考える頭があれば、ゼロからすぐに生み出せるというものではありません。いくつもの挑戦と失敗を重ねて、残ったものが次のイノベーションにつながっていくものだと思います。失敗から学ぶ経験を重ねた人は、失敗を恐れない強さが身に付きますし、次に挑戦するときには勘が働くようになります。その力こそが社会で通用する創造性に繋がる力となるのではないのでしょうか。

学生の皆さん、今のうちにしっかりと「失敗から学ぶ力」を養っておきませんか!





高専女子フォーラムin関西の参加報告



電気工学科4年 増本 千裕

高専女子フォーラムで女子中学生とその保護者、企業の方に向けて、私の4年間の成長について発表をしました。発表では、自分が伝えたいことが何かを考え、それを簡潔に伝えることを意識しました。そのため、ポスターや発表を企業の方に褒めていただけた時は、とても嬉しかったです。この発表を通して、この4年間の自分の成長や考え方の変化などに気づくことができ、良い機会になりました。

情報工学科 松村 寿枝

平成24年12月に始まった高専女子フォーラムも、全国の各地区で開催され、間もなく20回を迎えます。高専女子フォーラムでは、毎年、女子学生が女子中学生・保護者、企業関係者等を対象に、「高専の専門教育の紹介」、「高専の研究紹介」、「女子学生の学生生活・課外活動紹介」をしています。今年度は、令和元年12月21日(土)に、クリエイティブプラザにおいて「高専女子フォーラムin 関西2019」が開催されました。本校から6組の女子学生13名と1名の女子学生が3高専の女子学生と一緒に発表しました。また、運営スタッフとして6名の女子学生が参加しました。毎年、参加している感じですが、発表する学生は、この日の発表のため、試験後から時間の合間を縫って発表ポスターを作成し、練習

し、本番に臨みます。指導教員の先生方のご苦労もかなりなものです。女子学生の頑張りには驚くばかりです。本当に学生の成長を感じることができました。



しなやかエンジニア教育プログラム生として高専女子フォーラムに参加して

電気工学科1年 福王 彩音
情報工学科1年 山口 璃桜

一言で表すと本当に楽しかったです！入学後、しなやかエンジニア教育プログラムの講義やその他の取り組みでやってきたことに間違いはなかったと思います。1年生からこういったことを体験できてほんとに自分にとってプラスになりました。仲間と協力して発表できたこともたくさんの人に私たちの行っている活動を発信することができたこともとてもよかったです。こんな機会を与えてくれたことに本当に感謝です！ただ今回は、発表することに精一杯でした。聴講者も「1年生にしては」頑張っているという観点で見てくださったと思います。発表の仕方や聴講者の立場に立った発表という点では、まだまだ成長していかないといけないと思いました。来年は、しなやかに加えていろんなコンテストに参加するつもりなので、その経験を生かして、また絶対発表したいと思いました。



全国高専ロボコン2019参加報告 ～ロボコン大賞&特別賞 W受賞～

チームリーダー 電子制御工学科4年 宮原 康輔

昨年度は地区大会予選敗退となり、これまでのロボコンプロジェクトが積み上げてきた技術や伝統を受け継いでいくためにも、去年の悔しさを晴らすためにも、絶対に全国優勝をしてやるという想いで、11月25日に両国国技館にて行われた高専ロボコン2019全国大会に「飛鳥」で出場しました。

近畿地区大会では優勝できたもののベストパフォーマンスが発揮出来なかったため、全国大会では安定した動作をして審査員判定になった際も確実に勝てるように、地区大会終了後から改良を重ねました。

チーム全員でアイデアを納得いくまで何度も何度も考え直し、大会では自分達が一番魅せたかった2台の自動ロボットで協調してシーツを干す事ができ、各地区大会や全国大会を通して唯一無二のアイデアに至り、干すと同時に会場から歓声が上がリ、とても嬉しかったです。

1回戦、2回戦と連続で理論値満点、準々決勝では満点は取れなかったものの高得点で勝利しました。準決勝では、トラブルや人為的なミスが重なり惜しくも敗退。目標としていた全国優勝とはならず悔いが残りますが、唯一無二のアイデアを2つも魅せることができました。そして、地区大会で成し



遂げられなかったベストパフォーマンスを発揮できたことはよかったです。

自動ロボット2台での協調作業が評価され、ロボコン大賞と特別賞を受賞しました。奈良高専のロボコン大賞の受賞は4回目で最多受賞となり、歴史に刻むことができ光栄に思います。

Aチーム「飛鳥」のメンバーだけでなく、Bチームのメンバーやロボコンプロジェクトを作り、育て、率いて来てくださったOB・OGの方々、支えてくださった指導教員や事務職員の方々のおかげでこの結果を達成することができたと思います。本当にありがとうございました。



卒業・修了予定者 進路状況

令和元年度 第5学年卒業予定者 大学編入学等進学状況 (令和元年12月31日現在)

大学名	学部名	人数
大阪大学	工学部	6
大阪大学	基礎工学部	2
神戸大学	理学部	2
東北大学	工学部	1
筑波大学	情報学群	2
筑波大学	生命環境学群	1
東京農工大学	工学部	2
金沢大学	理工学域	2
福井大学	工学部	1
信州大学	工学部	1
岐阜大学	工学部	1
静岡大学	農学部	1
三重大学	工学部	1
京都工芸繊維大学	工芸科学部	5
和歌山大学	システム工学部	1
岡山大学	工学部	3
広島大学	生物生産学部	1
広島大学	理学部	1
香川大学	創造工学部	1
長岡技術科学大学	工学部	8
豊橋技術科学大学	工学部	5
大阪府立大学	工学域	8
同志社大学	理工学部	2
立命館大学	理工学部	1
奈良工業高等専門学校	専攻科	41
オックスフォードブルックス大学	工学演算数学部	1
代々木アニメーション学院大阪校		1
合計		102

令和元年度 卒業予定者 就職内定状況 (令和元年12月31日現在)

企業名	人数	企業名	人数
旭化成(株)	2	辰巳電子工業(株)	1
ANAベースメンテナンステクニクス(株)	1	チームラボ(株)	1
ANAラインメンテナンステクニクス(株)	2	(株)椿本チエイン	2
eBASE(株)	1	東海旅客鉄道(株)	1
出光興産(株)	2	東京ガス(株)	1
宇部興産(株)	1	東レ(株)	1
NTTコムエンジニアリング(株)	1	ナブテスコ(株)	1
(株)NTTデータSBC	1	日新電機(株)	1
(株)NTTファシリティーズ関西	1	日鉄レールウェイテクノス(株)	1
エムオーテックス(株)	1	ニプロファーマ(株)	1
大阪ガス(株)	1	日本アイ・ビー・エム テクニカル・ソリューション(株)	1
(株)オブテージ	1	日本たばこ産業(株)	2
花王(株)	3	パナソニック(株)オートモーティブ&インダストリアルシステムズ社	1
牛乳石鹸共進社(株)	2	阪神高速技術(株)	1
京セラ(株)	2	東日本旅客鉄道(株)	1
(株)クボタ	1	(株)微生物化学研究所	1
ケイミュー(株)	1	フェンリル(株)	2
KHネオケム(株)	1	本田技研工業(株)	1
(独)国立印刷局	1	マルホ(株)	1
サントリーホールディングス(株)	1	三菱電機ビルテクノサービス(株)	1
JXTGエネルギー(株)	1	(株)ミライト・テクノロジーズ	2
(株)ジェイテクト	1	(株)メンバーズ	1
島津エス・ディー(株)	1	(株)モリタ製作所	1
(株)シマノ	1	森永乳業(株)	1
シャープ(株)	1	山本光学(株)	1
星光PMC(株)	1	(株)LIXIL	2
セイコーエプソン(株)	1	理研ピタミン(株)	1
ダイキン工業(株)	2	レンゴー(株)	1
ダイヤモンド電機(株)	1	合計	70

令和元年度 専攻科修了予定者 大学院合格・進学予定状況 (令和元年12月31日現在)

大学院名	研究科名	人数
京都大学大学院	エネルギー科学研究科	2
京都大学大学院	人間環境学研究科	2
大阪大学大学院	工学研究科	3
神戸大学大学院	科学技術イノベーション研究科	1
名古屋大学大学院	工学研究科	1
京都工芸繊維大学大学院	工芸科学研究科	2
奈良先端科学技術大学院大学	先端科学技術研究科	13
合計		24

令和元年度 専攻科修了予定者 就職内定状況 (令和元年12月31日現在)

会社名	人数
セイコーエプソン(株)	1
(株)奥村組	1
TRUNK(株)	1
自衛隊 幹部候補生	1
TISシステムサービス(株)	1
呉竹(株)	1
AGC(株)	1
吹田市	1
合計	8

卒業おめでとう!



機械工学科5年 池島 竣

僕たちのクラスは入学して最初1か月はとても静かで、このクラスで卒業まで耐えられるのかな、と大きな不安がありました。しかし、スポーツ大会などの行事を迎えるにつれ、少しずつクラス全体がなじんでいきました。1年生のころは、まだあと5年もある。と考えながら登校していたのが、あと4年、あと3年となり、ついに卒業を迎えました。こ



卒業旅行での
5Mクラスメイト達

ういった節目を迎えるとき、長いようで短い道のりだったとよく言われますが。僕の人生でこの5年間は長く長く濃い時間でした。もちろんこの5年間には楽しい思い出以外にも、苦しかった思い出や、悲しい思い出がたくさんあります。毎週火曜日に徹夜で書いた4年生の実験レポートやテストで人生最低点を更新した日、新学年を迎えたときにクラスメイトがなぜか減っていて一つ下の学年にいたこと。しかし、僕たちはそういった苦しい思いを共にしてきたからこそ、これだけ仲良く、気を遣わずに話せる仲間になっているのだと思います。1年生の頃は最悪だと思っていたクラスがいつからか自慢できる最高のクラスになっていました。ありきたりだし恥ずかしいのであまり言いたくないですが、この5年間は僕にとって宝物で、最高の仲間に出会えました。3150!!

機械工学科5年学級担任 平 俊男

皆さん、卒業おめでとうございます。4月からは、ある者は社会人として、ある者は学生として、それぞれの舞台でスタートを切ることになります。たくさんの希望と少しの不安が入り混じる別れと出会いの春です。新たな生活は順風満帆とばかりはいかないかもしれませんが、奈良高専機械工学科で友人たちと過ごした時間を思い出しながら、困難を乗り越えていってください。ここで字数も尽きました。改めて卒業おめでとう。お元気で。



電気工学科5年 川本 真也

ご存じのとおり、「高専」という環境は特殊な環境です。人によっては多少の変動がありますが、中学卒業から5年間をほぼ変わらないメンバーと共に過ごし、一般科目に加え専門科目を学ぶ。高校受験の際に高専を選択肢として考え、入学を決意したあの頃の僕は、高専を卒業するこんなことになるとは露ほども考えていなかったはずです。

高専は特殊な環境ですが、高専に入学したことを後悔したことはありません。何度が辞めようかと考えましたが、



卒業旅行にて



ハイキングにて

頼りになる先輩方、気のいい同級生、誇らしい後輩たち、厳しく優しい先生方、すべての出会いは高専に入学していなければ得られなかったものです。すべての学びは高専に入学していなければ得られなかったものです。

前述のとおり、高専は良い意味でも悪い意味でも特殊な環境です。定期試験やレポート、クラブ・同好会活動に学生プロジェクトや高専祭、特に僕であれば学生会長としての責務。この5年間に経験したすべてが、今の僕、そしてこれからの僕に大きな影響を与えてくれていることは言うまでもありません。

やっぱりどう考えても高専は特殊な環境です。そしていつまでも僕の、僕たちの母校です。大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。

電気工学科5年学級担任 高橋 明

平成が終わり、令和元年になって卒業を迎えることになりました。これからまた時代が変わり社会が変わっていく節目になる予感がします。皆さんは卒業後、時代の変化に追いつくためにも日々の勉強は引き続き求められます。それ以上に自分で考えて判断する必要性に迫られるはず。そんな時にこの5年間に経験し、学んだことが将来の皆さんの日々の活動の中で生きてくると信じています。また友人や知人も大切な財産になりますのでどうか大切にしてください。皆さんが学校を出て活躍されることを願ってこの節目を祝いたいと思います。



電子制御工学科5年 辻 知樹

私たちがここ奈良高専に入学してから、5年の月日が流れました。長いようで短かった学生生活の中では、楽しいことよりも大変なこと多かったように感じます。今思い返せば早い段階から実験やレポート、高度な専門知識の学習など洗礼を受けつつもなんとか卒業までたどり着きました。



5Sクラス
ルームにて



3年生の
ハイキングにて

入学当初から前後左右どこを見てもクラスメイトは男、男、男。そのためか、スポーツ大会やレポート大会、課題祭りでは素晴らしい団結力を見せました。特にスポーツ大会は5年になってようやく入賞し、祝勝パーティーを教室で行ったのは良い思い出です。また、卒業旅行では事前にしおりの読み合わせを十分していたはずが、集合時間に全員揃わない、ビンゴ大会をするのに景品の用意を忘れるなど、いつでもどんなときでもハプニングが起こり、退屈しない日々を過ごすことができました。

楽しい時間は待ってくれることもなく淡々と流れていきますが、夢へ向かって一歩ずつ着実に進んでいきたいものです。最後になりましたが在学中お世話になった先生方、僕たちを支えてくださった全ての方に感謝いたします。個性が爆発したクラスメイトにもDanke schön!

電子制御工学科5年学級担任 島岡 三義

皆さん、ご卒業おめでとうございます。地球温暖化が指摘されている中で、熊本大地震、大阪での地震、かつてないほどの強大な台風の襲来による風水害など、温暖化とは直接関係しない災害も多発した5年間ではなかったかと思えます。その一方で、平成から令和にかわり、ラグビーワールドカップは世界中を沸かせました。一方、世界では「自国第一」主義と新型コロナウイルスの広がりを見せ、政治や社会の不安定が目立っています。厳しい社会ではありますが、皆さんの活躍が期待されています。皆さんがたくましく成長されたことを担任として非常に嬉しく思っています。

情報工学科5年 西川 勇太

ドキドキワクワクの高専入学から早5年、気づけばもうあっという間に5年生の最後を迎えていました。自分が高専を卒業して、来年度からこれまでたくさんの時間を共にしてきたクラスメイトや他学科の同級生と顔を合わせることができなくなるということに、まだ実感が湧いていません。

この5年間、思い返せば本当にたくさんのことを体験して



卒業旅行での5Iクラスメイト達

きました。クラス委員長や軽音楽部会計といった役職、実験レポートや卒業研究、インターンシップ、軽音楽部での高専祭ライブなど、自分の糧となる事ばかりでした。ただ、全部が全部楽しいわけではなく、辛く苦しいこともありました。そんな時、同級生や軽音楽部の素敵な先輩や後輩に救われていたのだと思います。私が所属していた軽音楽部は学年ごとにより隔たりがなく、縦の繋がりが特に強いみんなが仲良の良い部活動でした。先輩後輩と一緒にラーメンを食べに行ったり、お泊り会を開いたりなど、とても充実していたとても居心地が良かったです。

最後に、様々な相談に親身になって乗ってくださり、的確な指導をしてくださった先生方に深く感謝申し上げます。そして、最初から最後まで高専生活を充実したものとしてくれたクラスメイトや部活動の仲間たちや5年間を通して出会えた仲間たち、本当にありがとう!

情報工学科5年学級担任 松尾 賢一

5I学生諸君、ご卒業おめでとうございます。3年生から担任を引き継ぐことになり、3年間皆さんを見てまいりました。3年生のときは、成績やこのままの雰囲気で大丈夫かなと思っていましたが、クラス重点課題を掲げ、特活、インターンシップ、進路指導、卒研を終えていく中で、皆さんがどんどん成長していくのを実感しました。結果的に、皆さんに身に付けて欲しかった「自分自身で考えて行動する力」が十分身につけてくれたと感じています。その力を、進学先、就職先でも遺憾なく発揮して欲しいと願っております。





物質化学工学科5年 中井 真一

月日が経つのは早いもので奈良高専へ入学してからもう5年。気が付けば学生生活が終わりを告げようとしています。そして、これから私たちは5年間関わってきた友人達と別れ、新しい環境でそれぞれの道を歩んでいきます。

5年を思い返すと様々な思い出や経験がありました。1年次から多くのレポートや課題などに追われ、「責任」という言葉



卒業旅行にて



ハイキングにて

の重さを知りました。また、インターンシップでは社会というものの大きさと将来の自分の姿を見つめる事ができ、学生から社会人になるという自覚を持ち、歩いていく今の糧となっています。これら1つ1つの思い出が奈良高専でしか得る事の出来ない貴重なものであり、これからの自分の大きな力になっていくと思っています。

最後に、切磋琢磨しあって楽しい時間を共に過ごしてきたクラスメイトや優しい部活動の仲間達との関わりによって今の自分があります。そして、先生方には勉強や研究だけでなく様々な相談に乗ってくださり、鋭く的確な指導によって学生生活を支えてくださった事を深く感謝申し上げます。5年間、本当にありがとうございました！

物質化学工学科5年学級担任 宇田 亮子

ご卒業おめでとうございます。卒業に際して皆さんに一番届く言葉は何かと考えていましたが、学生が遠い昔になった私の言うことはピンとこないかもしれません。そこで、もし学生の頃の自分にアドバイス可能だとしたら何かと考えたところ「他人の言うことに耳を傾け、他人の言うことを気にするな」でした。一見矛盾しているようですが、自分を冷静に見られないから周りのせつかくの助言が届かない。そのくせ自分をよく見せたいから些細な声を気にしてしまう。という若さゆえの?の弱点があったように思います。若い時の自分に送る自戒から、皆さんが何か得るものがあれば望外の喜びです。

専攻科 修了おめでとう!



システム創成工学専攻 機械制御システムコース2年 山野 遼平

専攻科での2年間はあっという間に過ぎましたが、学べることの多い2年間でした。研究活動や課外活動を通して、人との関わりが大切であることを学びました。健康面では、食堂のおかげで病気をすることなく日々を過ごせました。ありがとうございます。

最後に、様々なことを教えてくれた先生方、楽しい時間を共に過ごしてくれた先輩、後輩、友達のみなさん、今まで支えてくれた家族のみんな、ありがとうございました。これからもよろしくお願ひします。



システム創成工学専攻 電気電子システムコース2年 松田 和也

高専で過ごした7年間という長い月日が遂に終わりを告げようとしています。特に、専攻科で過ごした2年間はあっという間に終わったように感じます。ときに研究やグループワークなどで行き詰まったこともありましたが、今となっては良い経験であったと思います。この貴重な経験は、先生方の甚大なるご指導なくして、体験することはできませんでした。7年間、本当にありがとうございました。

最後に、行事ごとにドラゴンボールやポケモンなど様々なコスプレをし、日々の生活を楽しくしてくれたクラスメイトに心から感謝しています。ありがとう。



システム創成工学専攻 情報システムコース2年 古賀 貴士

“7年間”と長い月日を過ごしてきた高専ライフに終止符を打つ季節となってまいりました。本科では部活動、専攻科では研究とまさに文武両道ともいえる学生生活でした。特に専攻科ではのびのびとした生活の中でしっかりと進路を考えることができ、カリキュラム内にとどまらず様々なことに挑戦してきました。その結果、自身のスキルに磨きがかかり確かな手ごたえを感じる事ができました。最後となりましたがお世話になった諸先生方、互いに研鑽しあえた友人に心から感謝申し上げます。



物質創成工学専攻2年 笠原 海帆

15歳からの高専での7年間は、書ききれないほど本当に様々なことがあり、大きく成長できた濃い学生生活でした。専攻科では、特別研究に取り組み、国際学会等での発表も行いました。また、海外インターンシップでシンガポールの学校で1ヶ月間研究を行う機会も頂け、沢山の経験ができました。

この2年間、大変なことも多くありましたが、こうやって楽しく充実した学生生活にできたのは、いつも温かくご指導くださった先生方、一緒に戦ってきた同級生、支えてくれた両親のおかげです。本当にありがとうございました。

専攻科長 中村 秀美

皆さん、専攻科修了おめでとうございます。皆さんがこれから社会に出て、仕事、研究、趣味などで何かを成就しようとするとき、必要なことはすぐに諦めることなく継続して新しい扉を模索することだと思えます。いくら能力の有る人でも短期間で目標を達成できることはほとんどありません。目標に向かって着実にこつこつと努力することこそが大きな力になります。まさに「継続こそ力なり」です。失敗することや挫けそうになることもあると思いますが、夢に向かってチャレンジし続けてください。皆さんの頑張りに期待しています。





全国高専英語プレゼンテーションコンテスト参加報告



電気工学科2年 坂部 達哉
電子制御工学科2年 飯田 海地
情報工学科1年 岸本 千波矢

2019年8月上旬に、2年生電気工学科の坂部達哉、電子制御工学科の飯田海地、1年生情報工学科の岸本千波矢の3人が全国高専英語プレゼンテーションコンテストのチーム部門のメンバーとして集められました。

2019年11月10日に行われた近畿地区予選大会にて2位という成績を残し、東京で行われる全国大会への切符を手に入れました。全国大会に向けて、この大会で気づいた改善点を直すべく、原稿の内容をより高めました。

2020年1月26日の全国大会では3位となりました。奈良高専初となる全国高専プレコンの入賞でした。近畿大会と比べ全国大会の会場の雰囲気ははるごく緊迫しており、英語レベルも高かったです。しかし私たちはそれに臆することなく、今まで積み重ねてきた練習を信じ、「高専生の在り方」というテーマでプレゼンをしました。この貴重な経験を今後の大学生活にも活かしていきたいです。



全国高専英語プレゼンテーションコンテスト 祝!全国大会第3位!

一般教科 中山 大輝

2020年1月25,26日に東京で行われた第13回全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテストに参加してきました。本コンテストは、シングル部門とチーム部門に分かれ、本校はチーム部門で参加しました。参加学生が2年生2名と1年生1名の合計3名で、出場チームのなかで最も若いチームであったと思います。「科学技術がもたらす負の側面」をテーマにしたプレゼンテーションでしたが、全員が低学年ということもあり、指導を始めたときは、彼らの議論や英語力の拙さを懸念しておりました。しかし、そのような不安を払拭するほどの努力を彼らは示してくれ、その結果、全国大会で第3位という、輝かしい結果を残すことができました。どのチームも甲乙つけがたい優れた発表を行ったなかで、大変優秀な結果を残した彼らを大変誇りに思うとともに、指導に携わることができたことを光栄に感じます。と同時に、今回の結果が彼らのみならず、他の学生に対する良い刺激となってくれば、と切に願っております。



クラブ・同好会紹介 vol.22

体育部	文化部	同好会
アーチェリー	からくり	化学同好会
合気道	機械研究会	合唱同好会
弓道	軽音楽	クイズ研究会
剣道	茶道	現代視覚文化研究会
硬式テニス	システム開発研究会	手芸同好会
硬式野球	将棋	生協学生同好会
サッカー	情報処理研究会	数学同好会
柔道	吹奏楽	電気技術研究会
少林寺拳法	美術	
水泳	放送	



バスケットボール部

情報工学科3年 堀川 康生

こんにちは、奈良高専バスケットボール部です。僕たちは月～土の週6日活動しており、そのうち月、木はトレーニングルームでフィジカルを鍛え、他の日は第二体育館で基礎から実践まで部員全員で課題点などを話し合いながら練習に取り組んでいます。また、OBの方がコーチとして、一人一人に指導して下さるのでとても質の高い練習をすることができます。公式戦は3月の春季高専交流戦、7月の近畿高専大会、9月の総体とあり、その中でも近畿高専大会を勝ち進み、全国高専大会に出場することを目標としています。テスト2週間前からoffになっているので勉強と部活の両立も可能となっています。もちろん楽しいことだけでなく、厳しいこともあります。部員一丸となって鼓舞し合い、切磋琢磨して練習に取り組んでいるので興味があればぜひ一度見学に来てください。



機械研究会

機械工学科2年 吉岡 翔太郎

機械研究会は、東京で行われる全国高校生鉄道模型コンテストに出展する活動を行っています。現在部員は10名ほど在籍しており、鉄道車両模型を作るHO班とジオラマを作るモジュール班の二班で活動しています。自分の持つ技術や知識と合わせて学校で習うこと、例えば回転数の計算や電子回路設計などを最大限活かすのが大きな特徴です。鉄道模型と言うと鉄道好きばかりというイメージをお持ちかもしれませんが、全員がそのようなわけではなく、製作作業が好きな人が集まっています。常に大会での優勝を目指した活動に励んでいます。





令和元年度(後期) 学生表彰者

優秀賞……在学5年間に於いて、学業成績が優秀で、人物が優れている者に贈られます。

皆勤賞……在学期間中、欠席、欠課がなかった学生に与えられます。ただし、同一科目における遅刻、早退は3回で欠課1時間とみなされます。

特別賞イ……在学期間中、全国高専大会に3回以上出場した者並びに課外活動等において特別な功績があった者に贈られます。

特別賞ロ……全国大会又はこれに準ずる大会において、優勝又は準優勝した個人又は団体に贈られます。

特別賞ハ……ロに準ずる催し物において、それらと同等と認められる成績を挙げた個人又は団体に贈られます。

特別賞ニ……学校内外において特別な善行、学生の模範として推奨できる行為又は功労等のあった個人又は団体に贈られます。

専攻科研究優秀賞……専攻科在学期間中、論文等の特に優れた学術研究活動が認められた者に贈られます。



優秀賞(10名)

機械工学科5年	三部 竜太郎、西尾 陸都
電気工学科5年	河合 真志、辻本 直也
電子制御工学科5年	佐古 洸也、仁熊 嶺
情報工学科5年	初田 玲音、藤本 祥
物質化学工学科5年	青田 奈恵、松生 愛

皆勤賞(31名)

機械工学科5年	足立 悠喜、池島 竣、池山 哲良、大道 拓斗、児島 大河、米谷 弘輝、高木 肇志、西尾 陸都、藤井 惇平
電気工学科5年	石井 響、辻本 直也、富永 柁樹、中川 恭輔、吉川 邦和
電子制御工学科5年	大森 元貴、紀伊 隆成、小林 永実、坂本 勇樹、佐古 洸也、辻 知樹、野田 悠紀
情報工学科5年	田村優次郎、辻浦 沙季、藤本 祥
物質化学工学科5年	今井 芙月、遠藤 伸幸、坂本蓮太郎、中井 真一、堀江 真代、道川佳世子、吉村 健一

特別賞イ(19名)

機械工学科5年	児島 大河 全国高等専門学校体育大会 陸上競技 第51・52・53回 出場 米谷 弘輝 全国高等専門学校体育大会 水泳競技 第51・52・53回 出場 西尾 陸都 全国高等専門学校将棋大会 第22回団体戦 第3位、第23・24回団体戦 優勝、第25回団体戦 第3位、第26回個人戦 第3位 新田 章圭 全国高等専門学校体育大会 水泳競技 第51・52・53回 出場
電気工学科5年	寺田 祐紀 全国高等専門学校体育大会 陸上競技 第51・52・53回 出場 濱田 敬文 全国高等専門学校体育大会 陸上競技 第51・52・53・54回 出場 植村 拓馬 全国高等専門学校ラグビーフットボール大会 第46・47回 準優勝、第48回 第3位、第49・50回 優勝 手塚 峻太 全国高等専門学校ラグビーフットボール大会 第47回 準優勝、第48回 第3位、第49・50回 優勝 川本 真也 学生会活動 功労(会長1期)
電子制御工学科5年	大床 信滋 全国高等専門学校ラグビーフットボール大会 第46・47回 準優勝、第48回 第3位、第49・50回 優勝 大森 元貴 全国高等専門学校ラグビーフットボール大会 第48回 第3位、第49・50回 優勝 柳村 ゆう 全国高等専門学校ラグビーフットボール大会 第46・47回 準優勝、第48回 第3位、第49・50回 優勝
情報工学科5年	大東 風生 全国高等専門学校体育大会 卓球競技 第49・50・52・53回 出場 中野 雄貴 KOSENセキュリティ・コンテスト2018・2019 出場、全国高等専門学校プログラミングコンテスト 第27・29回 出場 原 玲音 全国高等専門学校体育大会 陸上競技 第50・51・52・53回 出場 藤本 祥 KOSENセキュリティ・コンテスト2018・2019 出場、全国高等専門学校プログラミングコンテスト 第29・30回 出場 三野 天羽 全国高等専門学校プログラミングコンテスト 第27・28・29回 出場
物質化学工学科5年	東尾 瑚子 全国高等専門学校体育大会 陸上競技 第50・52・53・54回 出場 松生 愛 全国高等専門学校弓道大会 第3・4回 出場、第5回女子団体の部 優勝・射道優秀賞

特別賞ロ(25名)

第50回全国高等専門学校ラグビーフットボール大会 優勝(25名)

電気工学科5年	植村 拓馬、手塚 峻太
電子制御工学科5年	大床 信滋、大森 元貴、柳村 ゆう
機械工学科4年	板垣 壮流、黒川 祥
電気工学科4年	小泉 太護、向井 康浩
情報工学科4年	村本幸次郎
機械工学科3年	勝真 大空
電気工学科3年	大床 星滋、西園 直輝、藤田 昌希
電子制御工学科3年	志富田大葵
物質化学工学科3年	甲元 蓮羽、島津 雄斗、藤田 勝也
機械工学科2年	市原 爽、大串 蓮
電気工学科2年	川東 拓真
電気工学科1年	甲元 陸羽、土田 航大
電子制御工学科1年	浅草 颯矢、山中 陽司

特別賞ハ(9名)

アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2019 全国大会 ロボコン大賞(8名)

電子制御工学科5年	服部圭一郎
電気工学科4年	上垣 柁季
電子制御工学科4年	中津 藍史、宮原 康輔
機械工学科3年	宇野 耀
電子制御工学科3年	坂本 光皓、廣本 一真、柳田 栞吾

日本設計工学会 2020年設計工学会会誌 表紙デザインコンテスト 最優秀賞(1名)

機械工学科5年	溪 春花
---------	------

専攻科研究優秀賞(5名)

システム創成工学専攻機械制御システムコース2年	大西 和真、小川椋太郎
システム創成工学専攻電気電子システムコース2年	松田 和也
システム創成工学専攻情報システムコース2年	古賀 貴士
物質創成工学専攻2年	阪口 祐紀



令和元年度 英語学習表彰者

英語学習優秀賞(6名)

物質創成工学専攻2年	笠原 海帆
システム創成工学専攻機械制御システムコース1年	吉村勲太郎
システム創成工学専攻電気電子システムコース1年	三宅 俊輝
機械工学科5年	二澤 佳祐
情報工学科5年	中満 悠人
電子制御工学科4年	中川 龍生

英語学習奨励賞(16名)

システム創成工学専攻電気電子システムコース1年	伊東 聡
情報工学科5年	辻浦 沙季、三宅 達也
物質化学工学科5年	坂本蓮太郎、鄭 從真
情報工学科4年	衛藤 優
物質化学工学科4年	上家 夕季、竹内 一輝
電子制御工学科3年	青木 凜夏
機械工学科2年	大串 蓮

英語学習表彰制度

本校学生の英語力向上を図るため、TOEICスコアの優秀者と英語検定合格者を表彰する制度です。平成元年度は計22名の学生が、次の基準によって表彰を受けました。

英語学習優秀賞…本科生・専攻科生のうちTOEICスコア735点以上または英検準1級以上に合格した者

英語学習奨励賞…本科生・専攻科生のうちTOEICスコア605点以上または英検2級に合格した者

電気工学科2年	神谷 柁徳、坂部 達哉、南阪本咲月
情報工学科2年	久野 日嵩
電子制御工学科1年	川内 望蒼
情報工学科1年	堀川 尚暉





アジアユースフォーラム2019(台湾)参加報告

電気工学科2年 南阪本 咲月
(GECEP履修生)

私は、昨年7月に台湾で開催されたアジアユースフォーラムに参加しました。同フォーラムには、台湾、日本、韓国、インドネシア、マレーシア、ベトナムの6カ国、計10校の高校二年生が参加し、「富の再分配」をテーマにプレゼンテーションや議論を行いました。

フォーラムでは、他の学校の人たちのスキルに圧倒されました。特にインドネシアの学生は、優れた資料と相手を引き込むユーモア溢れる話し方で、プレゼンテーションの完成度が高く、学ぶことが多くありました。また、大人数での議論は、内容を理解し発言するのが難しく、自分の英語力がまだまだであることを痛感しました。

それでも、プログラムの初日に空港で出迎えてくれた現地の女子学生と一対一で身近な話題で盛り上がる事ができた

ときは、英語でコミュニケーションを取ると、本当に世界とつながることができるのだと実感しました。

また、私は今回、初めてホームステイを体験しました。ホストファミリーとの時間の中で特に印象に残っているのは折り紙の折り方を説明していた時のことです。自分なりに折り方を伝えることができ、完成したときに喜んでくれたのがとても嬉しかったです。

私が現在高専で学んでいる工学の世界では、議論をする上で基本的な知識に加え、専門的な英語力も必要になってくるので、広い視野を持っているいろいろなことに挑戦していきたいです。そして、今後は勉強、部活動、趣味などにおいて明確な目標を立て取り組むことで自分を高めていきたいと思えます。



グローバル工学協働教育プログラム(GECEP)について

グローバル担当特命助教 板倉 和裕

奈良高専では、世界で活躍できる「グローバルエンジニア」の育成を目指し、平成30年度に「グローバル工学協働教育プログラム」(GECEP)を開設しました。今年度は、GECEP二期生が選抜され、現在、本科1・2年生の学生38名がGECEP(ベーシックコース)を履修しています。ここでは、今年度GECEP履修生が参加したいくつかの活動を紹介したいと思います。

まず、夏季休業中には、体験型学習施設である大阪イングリッシュビルを訪問しました。GECEP履修生の1・2年生の学生21名が参加し、国際線利用や科学教室など、具体的なシチュエーションを想定した実践的な英語レッスンを体験しました。参加学生たちは、ふだんの授業とは違う、外国人トレーナーによる英語でのレッスンにも緊張することなく楽しんで参加している様子でした。海外を疑似体験し、海外旅行や留学先で必要となるような英語表現についても学んだ、たいへん有意義な時間となりました。

昨年末には、奈良先端科学技術大学院大学・准教授で、本

校でも非常勤講師としてグローバル科目を担当いただいているマクダウル・リー先生(オーストラリア出身)を講師に招き、特別講義を開催しました。“Intensive English Communication Skills Training”と題した特別講義にはGECEP履修生の1年生13名が参加し、英語ネイティブ教員による全英語での授業を体験しました。講義では、日本語との比較を交えつつ英語の音声上の特徴に関する解説や個人でも行える発音の特訓法が紹介されました。また、グループワークでは学生同士が英語で議論し、その内容を他のグループに英語でプレゼンするなど、アウトプットに重きを置いた活動も行われました。

現在は、今年3月に予定されているシンガポール人学生の短期訪問受入に向けて、GECEP履修生が中心となって日本文化紹介プレゼンやアイスブレイキングゲームの準備を進めています。グローバル教育センターでは、今後も、学生たちが英語を使って交流し、国際感覚を育める場を積極的に提供していくつもりです。



カウンセラーだより

こころの栄養 “ストローク”

カウンセラー
(臨床心理士)
栃尾 順子



今回は、支えあう人間関係について、ストロークという点から考えてみます。

ストロークとは、本来“なでる”“さする”といった意味がありますが、他の人々を認めるための働きかけをすることを含みます。たとえば、微笑む、うなづく、励ますといったことです。これらは、私たちが毎日の生活を元気に生きていくために必要な、“こころの栄養”と考えることができるでしょう。

人間関係は複雑なものですが、基本的にはプラスのストロークを与えると、それが自分にも帰ってくる場合が多く、マイナスのストロークを与えると、それも同じように帰ってくる場合が多いと考えられます。自分自身が元気になるために、また気持ちのよい人付き合いを考えるために、次のようなことを意識してみることができるとは思いません。

- ①人にしてあげられるストロークがあればあげましょう。「おはよう」「元気？」など声をかける。
- ②自分がしてほしいストロークがあれば、人からもらいましょう。「僕のセリフ、上手に言えてたかな…？」
- ③欲しいストロークがくれば、受け取りましょう。「上手だったよ」と言ってもらったら、「たいしたことないよ」と謙遜するのもいいですが、自分を労うためにも、「ありがとう」と受け取ることも大切です。
- ④自分にとって嫌なストロークは、伝え方をよく考えて、時には「ノー」と伝える必要もあります。
- ⑤自分にストロークをあげましょう。時には頑張った自分を認めてあげることも大切です。

また、誰でもこれを認めてもらいたいというところがあるものです。それをターゲットストロークと言います。自分は何を認めてもらえると嬉しいでしょうか。他人はどうでしょう。それに気づくことがよい人間関係の手がかりになる場合もあります。人とストロークを交換しながら、心の中に栄養(ストローク)を蓄える蓄えることは、健康な心身を保つためにも役立つことが知られています。

ソーシャルワーカーだより

「相談するほどでも・・・」
「ちょっと困ったかも・・・」
って時に
こんなwebサイトは？

ソーシャルワーカー
(社会福祉士・精神保健福祉士)
中里 昌子



「対人関係が上手くいかない」「食欲がない。眠れない。」人に相談するほどでもないけれど・・・。家族や友達には言いにくいけれど「困ったかも・・・」こんな時ってありませんか。最近では24時間相談できたり、LINE等のSNS、チャットで相談できるところが増えてきました。

こんな時、どこに相談すればいいかわからない・・・相談先を検索できるwebサイトをご紹介します。

★<https://me-x.jp/about/>

家族や友達・からだ・勉強など、人には言えない「困ったかも」を手助けする10代のためのwebサイト「Mex ミークス 10代のための相談窓口まとめサイト」です。相談先を探すだけでなく、「よみもの」「動画」などもあります。20代の方もどうぞ!

★<https://www.mhlw.go.jp/kokoro/youth/>

こころもメンテしよう

～若者を支えるメンタルヘルスサイト～

「からだがだるい」「眠れない」「イライラする」なんて時に覗いてみてください。

「ストレスとこころ」「ケースに学ぶ」「友達のことが気になる」などの読み物もあります。

ほかにも色々なところがあります。厚生労働省のホームページ(<http://shienjoho.go.jp/info.html>)からも検索できます。もっと違う相談先を知りたい・・・なんて時にはスクールソーシャルワーカーを訪ねてみてくださいね。皆さんからの気軽な質問をお待ちしております。



全国高等専門学校 ラグビーフットボール大会に参加して

～全国制覇、2連覇を達成して～

ラグビー部マネージャー
物質化学工学科5年 **杉本 波留花**
吉田 奈央

ラグビー部は、令和2年1月4日から開催された全国大会で2年連続の優勝を掴み取ることが出来ました。この1年間、前回大会の優勝校として、さらに強いチームを作るために、日々厳しい練習に取り組みました。また、大きく丈夫な体づくりのために、ウエイトやフィットネストレーニングの数を増やしたり、栄養セミナーを受けたりして、チーム全員で努力してきました。全国優勝、そして2連覇を達成できたこと、本当に嬉しく思います。

5年生が引退し、新チームがスタートしています。また一から、気持ちを切り替えて、全国優勝、3連覇に向けて練習に励んでいきます。

2連覇を達成できたことは、色々な周りの方々の理解や支援のおかげであり、感謝の気持ちでいっぱいです。毎日、なんの不自由なくラグビーを楽しめている事、ラグビーに没頭できる環境がある事に感謝し、充実した活動をしていきたいと思っています。これからも応援よろしくお願ひします。



卒業記念品の贈呈

令和元年度卒業生の皆さんから卒業記念品として「ガーデンテーブルセット」を4セット寄贈していただきました。卒業生の皆さん、どうもありがとうございました。



行事予定 (4月～9月)

- ◆ 4月 1日(水) 春季休業(5日(日)まで)
- ◆ 4月 5日(日) 開寮・寮生集会
- ◆ 4月 6日(月) 入学式・入寮式・新入寮生歓迎夕食会
- ◆ 4月 7日(火) 特別日課(2～5年)・新入生オリエンテーション(学生委員会)・専攻科学外研修(専1年)
- ◆ 4月 8日(水) 全校集会・健康診断・教科書購入・ホームルーム・新入生オリエンテーション(教務委員会)
- ◆ 4月 9日(木) 前期授業開始(本科・専攻科)
- ◆ 4月18日(土) 開校記念日・学生会主催新入生歓迎会(1年)
- ◆ 4月23日(木) 交通安全教室(2年)・春季リーグス研修会
- ◆ 4月25日(土) 新入生オリエンテーション(レクリエーション)
- ◆ 4月30日(木) 社会人教育セミナー(4年)・専攻科入学願書受付(推薦:8日(金)まで)
- ◆ 5月 1日(金) 閉寮
- ◆ 5月 6日(水) 開寮・寮生集会
- ◆ 5月14日(木) 学生会総会・専攻科入学試験(推薦)
- ◆ 5月16日(土) 学寮春季スポーツ大会・学寮避難訓練・近畿地区高専体育大会(硬式野球:17日(日)まで)
- ◆ 5月20日(水) 専攻科入学試験(推薦)合格発表
- ◆ 5月21日(木) 春季スポーツ大会
- ◆ 5月31日(日) 編入学試験
- ◆ 6月 1日(月) 専攻科入学願書受付(学力:5日(金)まで)
- ◆ 6月 3日(水) 編入学試験合格発表
- ◆ 6月 4日(木) 前期中間試験(本科・10日(水)まで)
- ◆ 6月10日(水) 救急法講習会(熱中症)
- ◆ 6月11日(木) 歯科検診(1～3年)
- ◆ 6月13日(土) 専攻科入学試験(学力)
- ◆ 6月18日(木) 人権合同特活(2年)・卒業生と語る会(3年)
- ◆ 6月19日(金) 専攻科入学試験(学力)合格発表
- ◆ 6月20日(土) 近畿地区高専体育大会(剣道:21日(日)まで)
- ◆ 6月25日(木) 人権合同特活(3年)
- ◆ 6月27日(土) 寮祭(28日(日)まで)・近畿地区高専体育大会(バスケットボール・ハンドボール・バドミントン:28日(日)まで)
- ◆ 7月 4日(土) 近畿地区高専体育大会(卓球:5日(日)まで)
- ◆ 7月 6日(月) 公開授業(10日(金)まで)
- ◆ 7月 9日(木) 寮生保護者懇談会(1年)
- ◆ 7月11日(土) 近畿地区高専体育大会(陸上競技・テニス・ソフトテニス:12日(日)まで・サッカー:13日(月)まで)
- ◆ 7月12日(日) 近畿地区高専体育大会(水泳)
- ◆ 7月16日(木) インターンシップ事前指導・特別講演会(4年・専攻科)
- ◆ 7月18日(土) 近畿地区高専体育大会(バレーボール:19日(日)まで)
- ◆ 7月27日(月) 補講(本科)
- ◆ 7月28日(火) 前期末試験(本科・8月3日(月)まで)
- ◆ 8月 3日(月) 全校集会・専攻科前期授業終了・学寮大掃除
- ◆ 8月 4日(火) 補講(本科)・専攻科夏季休業(9月30日(水)まで)・閉寮
- ◆ 8月 5日(水) 本科夏季休業(9月23日(水)まで)
- ◆ 8月18日(火) 体験入学(20日(木)まで)
- ◆ 9月23日(水) 単車安全講習会・開寮・寮生集会
- ◆ 9月24日(木) 全校集会(短縮授業2)・前期授業再開(本科)

編集後記

卒業、修了、進級とみなさんそれぞれ新たなステップに進まれることと存じます。奈良高専でも、古くなった設備や建物少しずつ新しくなっています。今年度は図書館棟の改修工事が無事終了し、4月から新しく機能が強化された施設を使えるようになります。いろんな面で使いやすくなっています。たまには書籍を手にとってゆっくり読書してみませんか。ぜひ、新しくなった施設を有効活用してみてください。

奈良高専広報センター